

平成 30 年

三重県議会定例会会議録

(5 月 18 日)
(第 10 号)

第10号
5月18日

平成30年

三重県議会定例会会議録

第10号

○平成30年5月18日（金曜日）

議事日程（第10号）

平成30年5月18日（金）午前10時開議

- 第1 議席変更の件
- 第2 常任委員選任の件
- 第3 議会運営委員会の委員定数変更の件
- 第4 議会運営委員選任の件
- 第5 四日市港管理組合議会議員選挙の件
- 第6 議案第120号
〔採決〕
- 第7 議員派遣の件
〔討論、採決〕

会議に付した事件

- 日程第1 議席変更の件
- 日程追加 議長辞職の件
- 日程追加 議長選挙の件
- 日程追加 副議長辞職の件
- 日程追加 副議長選挙の件
- 日程第2 常任委員選任の件
- 日程第3 議会運営委員会の委員定数変更の件
- 日程第4 議会運営委員選任の件

日程追加	常任委員辞任の件
日程第5	四日市港管理組合議会議員選挙の件
日程第6	議案第120号
日程第7	議員派遣の件

会議に出欠席の議員氏名

出席議員 48名

1	番	芳野	正英
2	番	中瀬古	初美
3	番	廣	耕太郎
4	番	山本	里香
5	番	岡野	恵美
6	番	倉本	崇弘
7	番	稲森	稔尚
8	番	野村	保夫
9	番	下野	幸助
10	番	田中	智也
11	番	藤根	正典
12	番	小島	智子
13	番	濱井	初男
14	番	木津	直樹
15	番	田中	祐治
16	番	野口	正
17	番	石田	成生
18	番	彦坂	公之
19	番	大久保	孝栄
20	番	東	豊
21	番	山内	道明

22	番	吉	川	新
23	番	津	村	衛
24	番	杉	本	熊野
25	番	藤	田	宜三
26	番	後	藤	健一
27	番	小	林	正人
28	番	服	部	富男
29	番	津	田	健児
30	番	中	嶋	年規
31	番	村	林	隆聡
32	番	長	田	隆尚
33	番	奥	野	英介
34	番	今	井	智広
35	番	日	沖	正信
36	番	前	田	剛志
37	番	舟	橋	裕幸
38	番	三	谷	哲央
39	番	中	村	進一
40	番	青	木	謙順
41	番	中	森	博文
43	番	前	野	和美
44	番	水	谷	隆勝
45	番	山	本	教和
46	番	山	本	場行
47	番	西	場	信美
48	番	中	川	正人
49	番	館		直人
(42)	番	欠		番)

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	湯 浅 真 子
書 記 (事務局次長)	岩 崎 浩 也
書 記 (議事課長)	佐 藤 史 紀
書 記 (企画法務課長)	稲 垣 雅 美
書 記 (議事課課長補佐兼班長)	中 村 晃 康
書 記 (議事課主幹)	川 北 裕 美
書 記 (議事課主幹)	松 本 昇

会議に出席した説明員の職氏名

知 事	鈴 木 英 敬
副 知 事	渡 邊 信一郎
副 知 事	稲 垣 清 文
危機管理統括監	服 部 浩
総 務 部 長	嶋 田 宜 浩

午前10時0分開議

開 議

○議長（舟橋裕幸） ただいまから本日の会議を開きます。

議 席 変 更 の 件

○議長（舟橋裕幸） 日程第1、議席変更の件を議題といたします。

会派の結成等に伴い、会議規則第2条第3項の規定により、議席を変更いたしたいと存じます。

お諮りいたします。本日より、ただいま御着席のとおり議席を変更することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（舟橋裕幸） 御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

諸 報 告

○議長（舟橋裕幸） この際、報告いたします。

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律第34条の規定により、三重県国民保護計画が提出されましたので、さきに配付いたしました。

次に、例月出納検査報告2件が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、説明のための出席要求につきましては、お手元に配付の名簿のとおり出席を求めました。

以上で報告を終わります。

休 憩

○議長（舟橋裕幸） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前10時1分休憩

午前10時2分開議

開 議

○副議長（水谷 隆） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・議長の辞職

○副議長（水谷 隆） この際、申し上げます。

舟橋裕幸議長から議長の辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。お諮りいたします。舟橋裕幸議長の辞職を許可することに御異議ありません

んか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（水谷 隆） 御異議なしと認めます。よって、舟橋裕幸議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔37番 舟橋裕幸議員入場・着席〕

○副議長（水谷 隆） 前議長 舟橋裕幸議員の御挨拶があります。

〔37番 舟橋裕幸議員登壇〕

○37番（舟橋裕幸） 議長を退任するに当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

昨年5月に、第107代三重県議会議長として御推挙をいただいて以降、水谷副議長をはじめ、議員の皆様から御指導、御支援をいただき、また、知事をはじめとする執行部の皆様方から御協力をいただきました。心から厚く御礼を申し上げます。

議長就任時には、議会改革をさらに推し進めたいと申し上げました。この改革への思いは議会改革推進会議で受けとめていただき、特に議会基本条例の見直しについては、近年の災害の大規模化等を踏まえ、危機管理条項の新設という形で結実しようとしています。私の率直な思いに対して真摯に議論に向き合っていたいただいた議員の皆様には、心から感謝を申し上げる次第でございます。

また、政策立案の取組としては、障害者差別解消法や障害者基本法の具体化等を図り、三重県独自の施策等を盛り込んだ条例の制定を目指して、昨年5月に特別委員会を設置いたしました。これらも条例制定の最終段階に入っており、終始熱心に御議論いただいた議員の皆様には、感謝するとともに敬意を表したい思いであります。

さらに申し上げますと、県議会の議員定数と選挙区については、2月定例会議で議員提出による改正条例案が可決され、平成27年改選時の状況が維持されることになりました。議員それぞれに様々な御意見はあろうかと思いますが、三重県議会基本条例にもうたわれているように、不断の見直しを行

うことが我々議員の責務であります。これからも県民の皆様の様々な御意見を踏まえつつ、よりよい方向に向かっていけるよう、議論、検討を継続していく必要があると思っています。

この1年間、より県民に開かれた県議会を目指し、全力投球で議長の職を務めさせていただけたことは、私にとりまして大変ありがたく、得がたい経験となりました。

昨今の地方自治体を取り巻く情勢は大変厳しいものがありますが、今後はこの経験を生かし、一議員として微力ではございますが、努力を重ねてまいる所存でございます。

三重県勢の今後一層の発展と、二元代表制の一翼を担う本県議会が、着実に進化を続けることを切に願い、退任の御挨拶とさせていただきます。

大変お世話になりました。ありがとうございました。（拍手）

日程追加・議長の選挙

○副議長（水谷 隆） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、議長選挙の件を日程に追加し、直ちに議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議場閉鎖〕

○副議長（水谷 隆） ただいまの出席議員数は48名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

9番 下野 幸助 議員

14番 木津 直樹 議員

を指名したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（水谷 隆） 御異議なしと認めます。よって、立会人に9番 下野幸助議員、14番 木津直樹議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○副議長（水谷 隆） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（水谷 隆） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

○副議長（水谷 隆） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に1番
芳野正英議員から順次、投票を願います。

〔投票執行〕

○副議長（水谷 隆） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（水谷 隆） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○副議長（水谷 隆） これより開票を行います。

立会人の方、立ち会いをお願いします。

〔開票〕

○副議長（水谷 隆） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 48票

有効投票 31票

無効投票 17票

有効投票中

前田剛志議員 31票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は8票であります。よって、前田剛志議員が議長に
当選されました。

		投 票 者	氏 名
1	番	芳 野	正 英
2	番	中瀬古	初 美
3	番	廣	耕太郎
4	番	山 本	里 香
5	番	岡 野	恵 美
6	番	倉 本	崇 弘
7	番	稲 森	稔 尚
8	番	野 村	保 夫
9	番	下 野	幸 助
10	番	田 中	智 也
11	番	藤 根	正 典
12	番	小 島	智 子
13	番	濱 井	初 男
14	番	木 津	直 樹
15	番	田 中	祐 治
16	番	野 口	正
17	番	石 田	成 生
18	番	彦 坂	公 之
19	番	大久保	孝 栄
20	番	東	豊
21	番	山 内	道 明
22	番	吉 川	新
23	番	津 村	衛

24	番	杉本	熊野
25	番	藤田	宜三
26	番	後藤	健一
27	番	小林	正人
28	番	服部	富男
29	番	津田	健児
30	番	中嶋	年規
31	番	村林	聡
32	番	長田	隆尚
33	番	奥野	英介
34	番	今井	智広
35	番	日沖	正信
36	番	前田	剛志
37	番	舟橋	裕幸
38	番	三谷	哲央
39	番	中村	進一
40	番	青木	謙順
41	番	中森	博文
43	番	前野	和美
44	番	水谷	隆
45	番	山本	勝
46	番	山本	教和
47	番	西場	信行
48	番	中川	正美
49	番	舘	直人

○副議長（水谷 隆） 議長に当選されました前田剛志議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

前田剛志議長、御挨拶を願います。

〔前田剛志議長登壇・拍手〕

○議長（前田剛志） 議長就任に当たり、一言御挨拶を申し上げます。

ただいまの議長選挙におきまして、皆様の温かい御支持をいただき、第108代三重県議会議長の重責を担うことになりました。まことに身に余る光栄であり、御厚情に対して心より感謝を申し上げる次第でございます。

この上は、議長の職責の重さを胸に刻み、三重県議会基本条例の基本理念と基本方針に基づき、二代表制のもとで議会改革を推進し、三重県政の進展と円滑な議会運営のために、全力を尽くす覚悟でございます。

議員の皆様の御指導、御鞭撻並びに知事をはじめ執行部の方々の御協力を賜りますよう、心からお願い申し上げ、就任の御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

〔「しっかり頑張りや、頼むで」と呼ぶ者あり〕

○副議長（水谷 隆） 前田剛志議長、議長席にお着き願います。

〔水谷 隆副議長退席・退場、前田剛志議長議長席に着く〕

日程追加・副議長の辞職

○議長（前田剛志） この際、申し上げます。

水谷隆副議長から副議長の辞職願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、副議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。水谷隆副議長の辞職を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認めます。よって、水谷隆副議長の辞職を許可することに決定いたしました。

〔44番 水谷 隆議員入場・着席〕

○議長（前田剛志） 前副議長 水谷隆議員の御挨拶があります。

[44番 水谷 隆議員登壇]

○44番(水谷 隆) 副議長を退任するに当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

昨年5月に皆様の御推挙により、第111代副議長に就任いたしましてから1年を経過し、本日、ここにもって職を辞することになりました。

在任中は、舟橋議長をはじめ議員の皆様方にはお力添えをいただき、また、知事をはじめ執行部の皆様の御協力をいただき、職務を終えることができました。心から厚く御礼を申し上げます。

この1年を顧みますと、舟橋議長の職務を補佐するとともに、広聴広報会議の座長として、県民の皆様から様々な御意見を聞かせていただく取組や、広く県議会の情報を発信する取組を積極的に進めてまいりました。

特に、誰もが県議会の情報に接することができる環境を充実させることとして、本会議の代表質問及び予算決算常任委員会総括質疑の中継への手話通訳の導入を決定したことは、大きな意義があると考えております。

また、県内の学校を対象に県議会の取組等を御紹介する、みえ県議会出前講座においては過去最高の実施校数となるなど、十分な成果を上げることができました。

さらに、昨年11月と本年1月に開催した、みえ現場d e 県議会においては、県民の皆様から県議会にとっていろんな意見をいただいたところであり、私自身にとっても大変貴重な御意見をいただいたところであります。

広聴広報会議におかれましては、これからも県民の皆様の声を大切にしながら、広聴広報活動の充実に努めていただきたいなど、このように思っています。

私にとりましても、伝統ある三重県議会の副議長を務めさせていただきましたことは大変ありがたく、意義深い経験であると思います。

今後は、一議員として、この経験をしっかりと生かし、県勢発展のため、力を尽くしてまいる決意をしております。どうか一層の御指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、副議長の退任の御挨拶にさせていただきます

ます。どうもありがとうございました。（拍手）

日程追加・副議長の選挙

○議長（前田剛志） この際、申し上げます。

会議規則第18条第1項の規定により、副議長選挙の件を日程に追加し、直ちに副議長の選挙を行います。

選挙は投票により行います。

議場を閉鎖いたします。

〔議場閉鎖〕

○議長（前田剛志） ただいまの出席議員数は48名であります。

お諮りいたします。会議規則第24条第2項の規定により、立会人として、

10番 田中智也 議員

15番 田中祐治 議員

を指名したいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認めます。よって、立会人に10番 田中智也議員、15番 田中祐治議員を指名いたします。

投票用紙と名札を配付いたします。

〔投票用紙、名札配付〕

○議長（前田剛志） 投票用紙と名札の配付漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 配付漏れなしと認めます。

投票箱を改めさせます。

〔投票箱点検〕

○議長（前田剛志） 異状なしと認めます。

念のため申し上げます。

投票は単記無記名であります。

投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、名札を持参し、議席順に1番

芳野正英議員から順次、投票を願います。

〔投票執行〕

○議長（前田剛志） 投票漏れはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 投票漏れなしと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

〔議場開鎖〕

○議長（前田剛志） これより開票を行います。

立会人の方、立ち会いをお願いします。

〔開票〕

○議長（前田剛志） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 48票

有効投票 42票

無効投票 6票

有効投票中

前野和美議員 41票

西場信行議員 1票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は11票であります。よって、前野和美議員が副議長に当選されました。（拍手）

投票者氏名

1	番	芳野正英
2	番	中瀬古初美
3	番	廣耕太郎
4	番	山本里香
5	番	岡野恵美

6	番	倉	本	崇	弘
7	番	稻	森	稔	尚
8	番	野	村	保	夫
9	番	下	野	幸	助
10	番	田	中	智	也
11	番	藤	根	正	典
12	番	小	島	智	子
13	番	濱	井	初	男
14	番	木	津	直	樹
15	番	田	中	祐	治
16	番	野	口		正
17	番	石	田	成	生
18	番	彦	坂	公	之
19	番	大久保		孝	栄
20	番	東			豊
21	番	山	内	道	明
22	番	吉	川		新
23	番	津	村		衛
24	番	杉	本	熊	野
25	番	藤	田	宜	三
26	番	後	藤	健	一
27	番	小	林	正	人
28	番	服	部	富	男
29	番	津	田	健	児
30	番	中	嶋	年	規
31	番	村	林		聡
32	番	長	田	隆	尚
33	番	奥	野	英	介

34	番	今井	智広
35	番	日沖	正信
36	番	前田	剛志
37	番	舟橋	裕幸
38	番	三谷	哲央
39	番	中村	進一
40	番	青木	謙順
41	番	中森	博文
43	番	前野	和美
44	番	水谷	隆
45	番	山本	勝
46	番	山本	教和
47	番	西場	信行
48	番	中川	正美
49	番	舘	直人

○議長（前田剛志） 副議長に当選されました前野和美議員が議場におられますので、当選の通知をいたします。

前野和美副議長、御挨拶を願います。

〔前野和美副議長登壇・拍手〕

○副議長（前野和美） 副議長に就任いたしました前野和美でございます。一言御挨拶を申し上げます。

ただいま多くの議員の皆様の御推挙により、第112代三重県議会副議長の要職を担うことになりました。大変、光栄に存じますとともに、職責の重大さに身の引き締まる思いでございます。改めて、議員の皆様の御高配に対しまして心よりお礼申し上げます。

この上は、微力ではございますが、前田議長を補佐し、円滑な議会運営と県政発展のため最善の努力をしまいる所存でございます。

議員の皆様の御指導、並びに知事はじめ執行部の方々の御協力をお願い申し上げます、就任の御挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

(拍手)

〔「頑張れ」と呼ぶ者あり〕

休 憩

○議長（前田剛志） 暫時休憩いたします。

午前10時48分休憩

午前11時20分開議

開 議

○議長（前田剛志） 休憩前に引き続き会議を開きます。

常 任 委 員 の 選 任

○議長（前田剛志） 日程第2、常任委員選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。常任委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の各常任委員名簿のとおり、それぞれ指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認めます。よって、それぞれ議長指名のとおり、決定いたしました。

常任委員名簿

会派	委員名 (定数)	総務地域連携 (9名)(次員1名)	戦略企画雇用経済 (9名)(次員1名)	環境生活農林水産 (8名)	医療健子ど福祉病院 (8名)	防災県土整備企業 (9名)(次員1名)	教育警察 (8名)
新政	えみ	3名 田中 智也 後藤 健一 三谷 央	3名 芳野 正英 吉川 新一 中村 進一	3名 中瀬 初美 廣 耕太郎 藤 宜三	3名 藤根 正典 濱井 初男 前田 剛志	3名 小島 智子 津村 衛信 日沖 正信	3名 下野 幸助 杉本 熊裕 舟橋 幸野
自由	党団	3名 服部 富男 青木 謙順 前野 和美	2名 田中 祐治 小林 正人	2名 水谷 隆勝 山本 信行	2名 野口 正健 津田 児	2名 石田 成年 中嶋 規	2名 木津 直樹 中森 博文
自民	党		1名 村林 聡	1名 西場 信行		1名 中川 正美	1名 山本 教和
能動				1名 彦坂 公之	1名 長田 隆尚	1名 舘直人	
鷹山		1名 奥野 英介		1名 今井 智広	1名 大久保 孝栄		1名 東 豊
公明	党					1名 山内 道明	
日本	共産党		1名 岡野 恵美		1名 山本 里香		
大志		1名 倉本 崇弘					
草の根	運動いっが		1名 稲森 稔尚				
青峰							1名 野村 保夫

常任委員名簿

会派	委員名 (定数)	予算決算 (50名) (次員3名)	
新	政 委 員 名 簿 み え	野中 芳田 吉後 中 正智 健進 英也 新一 中瀬 根村 沖 藤津 日 廣小 杉舟 島本 橋 耕太郎 子野 幸 智熊 裕 下濱 藤三 野井 田谷 幸初 宜哲 助男 三央	17名
自	由 民 主 党 議 団	木小 青山 津林 木本 直正 謙 樹人 順勝 田服 中 中 部 森 中 祐 富 博 治男 文 野津 前 山口 健和 正児 美 石中 水 田嶋 谷 生成 規隆	13名
自	民 党	村林 聡 山本 教和 西場 信行 中川 正美	4名
能	動	彦坂 公之 長田 隆尚 館 直人	3名
鷹	山	大久保 孝栄 東 豊 奥野 英介	3名
公	明 党	山内 道明 今井 智広 2名	2名
日	本 共 産 党	山本 里香 岡野 恵美 1名	1名
大	志	倉本 崇弘 1名	1名
草	の 根 運 動 い が	稲森 稔尚 1名	1名
青	峰	野村 保夫 1名	1名

議会運営委員会の委員定数変更

○議長（前田剛志） 日程第3、議会運営委員会の委員定数変更の件を議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員会の委員定数を11名に変更いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認めます。よって、議会運営委員会の委員定数を11名に変更することに決定いたしました。

議会運営委員の選任

○議長（前田剛志） 日程第4、議会運営委員の選任の件を議題といたします。

お諮りいたします。議会運営委員会の委員の選任につきましては、委員会条例第6条第1項の規定により、議長から、お手元に配付の議会運営委員名簿のとおり指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認めます。よって、議長指名のとおり決定いたしました。

議会運営委員名簿

会派	委員会名 (定数)	議会運営 (11名)
		5名
新	政	み
え		下野幸助 藤根正典 杉本熊野 三谷哲央 中村進一
		4名
自	由	民
主	党	県
議		団
		服部富男 中嶋年規 中森博文 水谷隆
自		民
		党
能		動
		1名
		長田隆尚
鷹		山
		1名
		大久保孝栄
公		明
		党
日		本
		共
		産
		党
大		
		志
草		の
		根
		運
		動
		い
		が
青		
		峰

休 憩

○議長（前田剛志） 着席のまま、暫時休憩いたします。

午前11時21分休憩

午前11時23分開議

開 議

○副議長（前野和美） 休憩前に引き続き会議を開きます。

日程追加・常任委員の辞任

○副議長（前野和美） この際、申し上げます。

前田剛志議員から医療保健子ども福祉病院常任委員の辞任願が提出されましたので、会議規則第18条第1項の規定により、常任委員辞任の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

お諮りいたします。委員会条例第10条第1項の規定により、前田剛志議員の医療保健子ども福祉病院常任委員の辞任を許可することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（前野和美） 御異議なしと認めます。よって、前田剛志議員の医療保健子ども福祉病院常任委員の辞任を許可することに決定いたしました。

この際、申し上げます。

ただいま選任されました各常任委員会及び議会運営委員会の委員の方々は、それぞれの委員会において委員長及び副委員長を互選の上、御報告願います。

休 憩

○副議長（前野和美） 常任委員会及び議会運営委員会の委員長及び副委員長互選のため、暫時休憩いたします。

午前11時24分休憩

午後1時0分開議

開 議

○議長（前田剛志） 休憩前に引き続き会議を開きます。

諸 報 告

○議長（前田剛志） この際、報告いたします。

各常任委員会及び議会運営委員会において、それぞれ委員長及び副委員長を、お手元に配付の委員長及び副委員長名簿のとおり互選した旨の報告がありました。

次に、議案第120号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

以上で報告を終わります。

委員長及び副委員長名簿 (各常任委員会、議会運営委員会)

委 員 会	委 員 長	副 委 員 長
総務地域連携常任委員会	服部 富男	田中 智也
戦略企画雇用経済常任委員会	芳野 正英	田中 祐治
環境生活農林水産常任委員会	廣 耕太郎	彦坂 公之
医療保健子ども福祉病院常任委員会	野口 正	藤根 正典
防災県土整備企業常任委員会	小島 智子	山内 道明
教育警察常任委員会	木津 直樹	下野 幸助
予算決算常任委員会	津村 衛	小林 正人
議会運営委員会	杉本 熊野	服部 富男

提 出 議 案 件 名

議案第120号 監査委員の選任につき同意を得るについて

四日市港管理組合議会議員の選挙

○議長（前田剛志） 日程第5、四日市港管理組合議会議員の辞職に伴い、後任者の選挙を行います。

なお、選挙すべき議員の数は3名であります。

お諮りいたします。選挙の方法につきましては、地方自治法第118条の規定により指名推選とし、指名の方法は、議長において指名いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認め、ただいまから指名いたします。

小 島 智 子 議員

後 藤 健 一 議員

津 田 健 児 議員

以上の方々を指名いたします。

お諮りいたします。ただいま指名いたしました3名の方を当選人と定めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました3名の方が四日市港管理組合議会議員に当選されました。

当選されました方が議場におられますので、当選の通知をいたします。

監 査 委 員 の 選 任

〔13番 濱井初男議員、17番 石田成生議員離席・退場〕

○議長（前田剛志） 日程第6、議案第120号を議題といたします。

お諮りいたします。本件は人事案件につき提案説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認め、本件は提案説明、質疑並びに委員会付託を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

採

決

- 議長（前田剛志） これより採決に入ります。
議案第120号を起立により採決いたします。
本案に同意することに賛成の方は起立願います。
〔賛成者起立〕

- 議長（前田剛志） 起立全員であります。よって、本案は同意することに決定いたしました。
〔13番 濱井初男議員、17番 石田成生議員入場・着席〕

議 員 派 遣 の 件

- 議長（前田剛志） 日程第7、議員派遣の件を議題といたします。

討

論

- 議長（前田剛志） 討論の通告がありますので発言を許します。4番 山本里香議員。

〔4番 山本里香議員登壇〕

- 4番（山本里香） お許しをいただきましたので、リニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会への議員派遣に反対する討論を行います。

これまでも指摘をしてまいりましたが、幾つかこのリニア中央新幹線建設には問題があります。

一つ、その2割しか活用先が決定していない東京ドーム50杯分とも言われる膨大な残土の処理の問題。従来の国の公共事業であれば、残土の活用先を指定してから事業認可することを考えると異例の状況であります。

二つ目、下流7市63万人分の水利権量と匹敵する大井川が毎秒最大で約2トン減少という、この水枯れの問題。

三つ目、品川一名古屋間であっても約5000人とされる住民立ち退きの問題。地権者の補償や土地取得費、3420億円が見込まれておりますが、さらに地権者の権利を侵害する大深度地下法の利用に際して、その計画自体を地上住居

者にも説明をまだしていないという問題が起こっています。

四つ目、安全性に疑いが持たれている電磁波が乗客客室の床上30センチで、4300ミリガウスとなる安全確保の問題。

五つ目、従来の新幹線に比べて3倍以上の電力が必要だということも、電力消費を抑えようとしている流れに逆行しているところです。また、建設費はもとより、運営経費が異常にかかります。2013年、当時のJR東海、山田社長は、リニアは絶対にペイしないと公言しています。財政投融资をめぐり、赤字必至の事業に巨額の公的資金を投入すれば、ツケは国民に回ります。工事費の算定や需要予測もずさんです。

さらに言えば、新幹線を含む在来線での老朽化によるものと思われる故障等が顕在化し、廃線、本数削減などで日常生活の公共交通に支障が出ている中で、地域交通を差し置いてのものです。

六つ目、岐阜県におけるウラン残土排出の可能性をも含む、大深度地層、地殻環境を工作することへの不安があります。

その上、談合問題です。その温床となったのは民間事業と国家的事業を両面扱いして国民の目を欺いていることから来ていると思います。総事業費の3分の1は国が融資をしております。もはや民間事業ではありません。返るあてもあるかどうか心配をされます。

固定資産税などの税制を優遇、工事に先立つ用地買収や建設残土の処分場選定に地方自治体を協力させるなど公共工事と同じ扱いをし、地方自治体にも難題を押しつけています。工事費の詳細を国民に説明し、不正のないよう、国がチェックするのが当然ですが、民間事業を口実に野放し非公開だったのです。

安倍首相は1月4日、リニア工事をめぐる巨大談合事件発覚の中、リニア中央新幹線が完成すれば、伊勢神宮にももっと短時間で参拝できるようになる、推進への決意に変わりはないと、リニアへの自身の強い意志を改めて表明されました。JR東海の社長、会長を歴任しリニア事業に着手した、今は取締役名誉会長の葛西氏は、安倍首相を囲む経済人の集まり、四季の会の主

要メンバーで、首相の後見人と言われる方で、第1次安倍政権下でも大きな役割を果たしてみえた方です。

こういったことの中で、リニアはもう技術も発想も過去のものになっていると研究者からの指摘もあります。リニアが構想された時代は、速く、効率よく、成長拡大するものを重視する価値観が主流でしたが、これから人口が減少していく日本で求められているのは、大都市圏を短時間で結ぶことで、さらなる大都市一極化を進めることではなく、本当の意味での地方再生ではないかと考えます。

これらのことから住民の暮らしや自然環境が壊されることと引きかえに、リニア建設を許すわけにはいかないとの思いで、推進の立場での期成同盟会への議員参加を議会費でということは容認できません。賛同を求め、反対討論いたします。（拍手）

○議長（前田剛志） 以上で討論を終結いたします。

採 決

○議長（前田剛志） これより採決に入ります。

本件を起立により採決いたします。

本件を、お手元に配付の一覧表のとおり派遣することに賛成の方は起立願います。

〔賛成者起立〕

○議長（前田剛志） 起立多数であります。よって、本件はお手元に配付の一覧表のとおり派遣することに決定いたしました。

議 員 派 遣 一 覧 表

1 リニア中央新幹線 建設促進期成同盟会 総会

(1) 派遣目的

リニア中央新幹線の早期建設の実現を強力に推進するために沿線9都府県の期成同盟会等で組織する「リニア中央新幹線 建設促進期成同盟会」が、平成30年度事業計画及び収支予算並びに国、関係機関等への要望活動を決定する「平成30年度総会」に出席する。

(2) 派遣場所 東京都

(3) 派遣期間 平成30年6月6日 1日間

(4) 派遣議員	芳野 正英 議員	下野 幸助 議員
	小島 智子 議員	木津 直樹 議員
	野口 正 議員	大久保孝栄 議員
	吉川 新 議員	長田 隆尚 議員
	青木 謙順 議員	舘 直人 議員

○議長（前田剛志） これをもって本日の日程は終了いたしました。

休 会

○議長（前田剛志） お諮りいたします。明19日から6月3日までは委員会の所管事項調査等のため休会といたしたいと存じますが、御異議ありませんか。
〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（前田剛志） 御異議なしと認め、明19日から6月3日までは委員会の所管事項調査等のため休会とすることに決定いたしました。
6月4日は定刻より本会議を開きます。

散 会

○議長（前田剛志） 本日はこれをもって散会いたします。
午後1時9分閉会